

G

グランシップマガジン
[ジー] vol.34

GRANSHIP magazine
SPRING 2007

SPECIAL-1

What wonderful children!

コドモ ノ チカラ

「音」と遊ぼ。

次代を創る顔

俳人 高柳 克弘

しずおかアーティスト・リレー

版画家 重野 克明

SERIES わが羅針 第34回

山本 晋也

SPECIAL-2

What wonderful children!

コドモ ノ チカラ

財静岡県文化財団アーカイブ事業

子どもたちが伝える昔ばなし

村松友視の文化漫遊 ②⑩

グランシップ ベンクラブ

角替 弘志

(常葉学園大学副学長・地域文化活動賞選考委員長)



月刊誌「俳句研究」では、先人の若い頃の句についての評論の連載「凜然たる群像」が好評。また、俳句や短歌、詩の出版社として知られるふらんす堂のホームページ上で毎日一句、芭蕉の句を鑑賞。後に書籍化が予定されている。ふらんす堂ホームページ <http://furansudo.com/>

俳人 高柳 克弘

俳句のために自分があるという感覚。
近い将来、第二句集の発表を。



仲間との吟行や句会は苦手。創作は専ら夜。部屋で一人、覚悟を決めて臨む。まだ句数は少ないが、「自分のために俳句があるのではなく、俳句のために自分がある。その感覚が心地いい」と語る。

俳句に出会うまでは、むしろ小説に興味があった。「言葉そのものと向き合い、無意味であることに価値を求める俳句が次第に楽しくなってきたんです」

最年少、若手、という冠が彼の名の前につくが、本人は「そのほうが面白いからでしょう」と冷静だ。「若い時は技が足りず、言葉も大胆。でも、閉塞しつつある俳句をそういうエネルギーで壊していく。そこに若い人が俳句をやる意義があると思います」現代の存在感の希薄さに静かな視線を向けながら、近い将来の第一句集発表を目指している。

たかやなぎ かつひろ

静岡県立浜松北高等学校卒業後、早稲田大学第一文学部入学。友人に誘われ、俳句サークルに入会。その後、俳句結社「鷹」入会。2004年『息吹』と題する俳句作品50句で史上最年少ながら第19回俳句研究賞受賞。俳句研究家としても知られ、最近は雑誌の連載やウェブ上で活躍。現在、同誌編集長。早稲田大学教育学部博士後期課程在籍。1980年静岡県生まれ。

Contents

次代を創る顔③④ 2

俳人 高柳 克弘

しずおかアーティスト・リレー⑩ 3

版画家 重野 克明

SPECIAL 特集① 4

What wonderful children!

コドモ ノ チカラ

「音」と遊ぼ。

series わが羅針 第34回 11

映画監督 山本 晋也

「秘すれば……。」

SPECIAL 特集② 16

What wonderful children!

コドモ ノ チカラ

財静岡県文化財団アーカイブ事業

子どもたちが伝える昔ばなし

グランシップベンクラブ 角替 弘志 (常葉学園大学副学長 地域文化活動賞選考委員長) 19

coming soon I 20

グランシップ&静響 クラシックコンサートシリーズ

名曲の舞台「音楽の宝庫・東欧編」

coming soon II 21

GRANSHIP JAZZ LIVE

スイングジャズクラブ ～ビッグバンドに参加しよう～

essay 村松友視の文化漫遊②⑩ 22

「やわらかい約束」

画／風鈴丸

information a-go-go 24～30

- 公演情報
- Just Finished!／「グランシップ正月寄席」 ●プレゼント
- 友の会のご案内 ●SPAC NEWS ●TOPICS
- TRY GRANSHIP
- SUPPORTER's VIEW READER's VIEW Editor's room



(2006年制作)

表紙アート●村上 征生 作品タイトル：『少年のころ』
ギルナーは少年の頃、魔法使いになれなかった。不思議の国のアリスとは仲良しだった。ジャックとともに大男と戦った。大人になった彼はある日昔のアルバムを出してその頃の写真の中で一番好きな写真に魔法使いの格好をさせた。すると後ろのドアは壁に縫い付けられ不思議な文字が浮かび出た。ドアを開けるには遅すぎたと。

しずおか 16
アーティスト・リレー

瀧 将仁さん
画家 次回



版画家
重野 克明



『無垢なる少女』 2004年 33.8×23.5cm エッチング

私は主に銅版画を中心に作品を発表しています。

銅版画の持つ独特の表情を生かし、
芸術作品としての可能性を探ってゆきたいと思っています。

私は高校時代を清水で過ごしました。

野球部に所属し、その時に培った体力、忍耐力は
今も制作の大きな糧となっています。

しげの かつあき●1975年千葉県出身。1992年静岡私立東海大学第一高等学校卒業。東京芸術大学美術学部絵画科油画専攻卒業、同大学大学院修士課程美術研究科版画専攻修了。個展・グループ展多数。収蔵作品／町田市立国際版画美術館（東京）、東京オペラシティ・アートギャラリー

「音」と遊ぼ。

オトナにとつては、それがただの石ころでも、コドモには、リングコに見えたり、カブトムシになったり、通り抜ける風の音がふと、魔法の呪文に聴こえたり、音楽を奏でたり。コドモはみな、いろんな世界と行き来できる自由の羽と、面白いことを見つけたすアンテナを持っているから。そんなコドモのチカラをONにして、さあ、「音」と遊ぶグランシップへ。



世界の勝ち組企業が認める「子ども力」。

小さき者の大いなる力を侮るなかれ。

「CQ」という単語を聞いたことがあるだろうか。CQとはChildren Quotientの略で、具体的には遊ぶ力、熱中する力、好奇心を抱く力、驚く力、質問する力など、生まれつき子どもに備わり、成長に関わるとされる能力をいう。日本ではこれを「子ども力」と呼び、その呼称から子育てや幼児教育の現場で使われる言葉として勘違いされやすいのだが、実際は主に企業経営上で用いられ、現に世界の成功企業はこぞってこの「CQ論」を導入しているという噂だ。

さて、ここではビジネス論は脇に置き、要するに大人たちは年齢や成長とともにいろんな力を身につけて大きくなったと思っているが、実は失った力も多いいいこと。それらはたとえば子どもの一人遊びの様子をしばらく観察してみれば、実感できる。子どもは思いがけないものに興味をもち、予測とは異なる行動をとり、想像しがたい世界に思いをめぐらせる。そんな光景に出会うと、かつて自分たちもそうであったとは気づかず、親たちは感動のあまり

つい、この子は空想と想像の天才じゃないか、と思ってしまうほどだ。そして、その判断はある意味、正しい。子どもは決して弱者ではない——今回、取材にご協力いただいた常葉学園短期大学の長橋助教は、そう語った。子どもの力を軽んじてはいけなさと。心身の発達とともに芽吹き、育まれ、あるいは失われがちな「小さき者の大いなる力」を発見することは大切なこと。そうした瞬間に立ち会い、その能力を認め、尊重することはさらに大切なことなのである。



人間の脳は、まず、ものごとを感じる表現するといった「感性」をつかさどる右脳が発達し、それから「理論」をつかさどる左脳が発達する。音楽をはじめとする芸術は、右脳に大きく関わる分野だが、なんと右脳の発達は7歳までにほぼ完成するといわれている。——などという、慌てて子どもにモーツアルトやベートーヴェンを聴かせよう、習いごとをさせようという方向に走る人がいるかもしれない。けれども、生まれたときから、否、生まれる前から、人間は音にふれ、音楽に親しむ準備がちゃんとできているのである。

ご存知の通り、胎児の時代から人の話し声や歌声は聞こえている。この世に生まれて月齢が進めば、音の出る方向に目を向け、心地よい音に身体で反応する。そうした受動期から、音の出るものを探し出し、心地よい音に反応する発動期、続いて音楽的表現の基礎となる模倣期、音楽と積極的に関わり感じ、自分なりに表現するステージまで、個人差こそあれ、心身の発達とともに音楽力は自然に養われていくようにできている。

ただ、一ついえるのは、子どもが興味を示すのは、自分に興味のあるものだけということだ。「面白そう」「楽しそう」がすべての原動力。「楽しむ」というアクションの中でしかその力が育たないというのも、子どもならではの偉大さだろうだとすれば、子どもには「面白そう」「楽しそう」と目を輝かせる場面に、どれだけ多く出会わせてあげられるか。そういう機会を逃さず、活かし、感性を育む土壌づくりをするのが、多様な音楽教育の前にまず求められるといえそう。

発達とともに変わっていく、音楽との関わり方。
「面白そう」「楽しそう」が感性を育む原動力に。



楽器を
ならす

「声にだして」歌う、話す。「身体を使って」手拍子をとる、膝をたたく。「モノにふれて」音をだす——人間が音をだすには、大きく分けてこれら3つの方法がある。音への興味は、やがて音づくりへの興味につながっていく。自分の好きな音、心地よい音を見つけ、いつしかそれがリズムづくり、メロディづくりへと発展していくのである。

だからこそ、子どもが思いっきり「音あそび」できる環境をつくってあげることが第一、楽器の持ち方、ならし方については、最初から大人が指導せず、子どもが音色の変化を楽しみながら、自分なりに好きな音を見つけだすために工夫することも尊重したい。

音をきく



音の体験にはいろいろある。音に「気づく」、音を「きく」、音を「楽しむ」、音に「感動する」など。また音そのものにも「楽しい音」「さびしい音」「驚く音」「やさしい音」「こわい音」「不思議な音」などがあり、心の動かし方はそれぞれ違う。さらにそれが音楽となると、そこに楽器や音色、メロディ、リズム、テンポなど、さまざまな要素が加わる。子どもは多種多様な音楽をまず受動的に「きく」ことによって、それらを心で受けとめる準備をするのだろう。

音楽を
つくる

子どもは、よく即興の歌をうたう。それは大人がつくる音楽が、自分を含めた多くの人が歌ったり演奏したりすることを目的とするのに対して、子どもがつくるそれは「つくること」そのものを楽しむということの象徴ともいえる。

音楽をつくるためには、音をよくきくこと、音のあり方に興味をもつこと、自分の感じ方を大切にすること、思いをめぐらすことなどが必要であり、こうした訓練が情操を育て、感性を高め表現力を養っていく。

Interview



最初の線、最初の音が生まれる前には、
いろんな手続き、成長の過程がある。
その瞬間、瞬間を大切にしたい。

できるというように、能力を前倒しにして引き出すことが正しいとは思えません。それよりも3歳児、4歳児に鍛えなければならぬ能力があり、そうしたパワーを尊敬し、反応しつつ引き出していくことが重要です」
そして、美術を専門とする氏は、子どもが絵を描くまで



短大の保育科で学生を指導する長橋氏は子どもの発達に合わせた能力開発の大切さを主張する。

「まだ3歳児なのにこんなこともできた、4歳でここまで

の発達の過程を例にあげてこう説明する。

「まず筆記具を握るということから始まり紙にペンがふれ、そこに点や線が現れる。その瞬間に子どもは驚き、もう一度それを見ようと再び描く。これがスクリブル、つまりなぐり書きですね。こうして最初の点や線が生まれる前にはいくつかの手続きがあるわけで、そこを飛ばして評価することはできません。それはきつと音楽も同じでしょう。

最初の絵、最初の音が生まれるまでの瞬間、瞬間を疎かにしないでほしいと思うんです」
幼児レベルで考察すると、色と音は似ている。専門として美術を探究すればするほど、その領域は危うくなるという。このゴールデンウィークにグラン

シップで開催される『子どものくにおとのひろば』において、氏は紙筒を用いたワークショップ(工作教室)を展開する。

「人間が何かを認識するとき、それは非常に複雑な手続きの中で成立しているんですね。耳を閉ざして絵を観るときと自然に観るときとは、その印象は違うはずです」

そこで今回は、あえて視覚情報をできるだけ抑えた音づくりコーナーを創出。

「幼稚園や保育園と違って、不特定多数が訪れる場でどんな音が生まれるのか。しかも(親子参加)がキーワードになる。親と子の積極的な共同制作によって、子どもはもちろん、親御さんにも楽しんでもらえる、そうしたコーナーになればと思います」

長橋 秀樹

Hideki Nagahashi

常葉学園短期大学助教授。東京芸術大学大学院研究科修了後、同大学非常勤講師を経て現職に至る。絵画の構造的考察とその実践を研究。

常葉学園短期大学と長橋氏協力による
ワークショップ(工作教室)は、5/3(木・祝)～6(日)の

4日間、グランシップ6階展示ギャラリーで開催される。

音を楽しむゾーン 6階 交流ホール

5/3 木祝 **劇団あしたば**
30年の歴史を誇るお母さん人形劇団。腹話術人形「ケンちゃん」との心温まるやりとりをお楽しみに。

5/3 木祝 **爆音戦隊スブンレンジャー**
静岡発ローカルヒーロー参上! ロックのリズムで楽しもう。

5/3 木祝 **上足洗みらいクラブ**
どこか懐かしいハーモニカの音色。
読み聞かせのひとつき。手遊び、リズム遊びもおぼえて帰ろう。

5/4 金祝 **人形劇団わにこ**
ひとり人形劇団「わにこ」の手づくりステージ登場。

5/4-5 金・土祝 **雙葉学園演奏会**
雙葉学園の生徒さんによる、金管楽器と木管楽器の演奏を。

5/5 土祝 **おはなしキャラバン**
おはなしキャラバンによる歌とお話劇。

5/6 日 **佐藤典子舞踊団バレエコンサート**
「NEW!わかふじ国体」「浜名湖花博」をはじめ、国内外で活躍の佐藤典子舞踊団・付属バレエ教室によるバレエを。

学ぶゾーン 2階 図書館コーナー・映像ホール

「おと」についての絵本の展示、えつらん、貸し出し
協力：静岡県立中央図書館

アニメ&昔ばなし上映 企画協力：グランシップサポーター

憩いのゾーン 3階 ロビー

駄菓子・軽食&休憩コーナー

音のでる玩具をはじめ、懐かしい駄菓子や軽食を販売。音に親しむ合間の憩いのひとときに。

音にふれるゾーン 6階 展示ギャラリー

楽器で遊ぼう 『これって楽器!?』と言ってしまいそうな珍しい楽器も登場。
この機会にふれてみよう。

楽器をつくろう 自分だけの楽器を手づくりしよう。

昔の遊びを体験しよう お手玉、けん玉で遊んでみよう。紙鉄砲、ぶんぶんゴマなど自分でつくって遊んでみよう。 企画協力：グランシップサポーター

工作教室 P7参照 協力：常葉学園短期大学

コンサートゾーン 1階 中ホール・大地

●5/3(木・祝) ●中ホール・大地

静岡銀行PRESENTS

～オーケストラの奏でる感動を!!～

こどもたちへのおくりもの

「はじめてのオーケストラ」「はじめてのバレエ」を体験するなら、この機会に。「みる」楽しさ、「きく」楽しさ、「一緒にうたう」楽しさと、音楽の魅力たっぷりの親子向けのコンサート。

【指揮】鈴木織衛(旧清水市出身)

【出演】静岡交響楽団 静岡県バレエ協会

KAGE-BOUSI(影絵) 静岡県少年少女合唱連盟

チケット
発売中

【プログラム】

第1部／『音楽とバレエ』～チャイコフスキー3大バレエより～
「白鳥の湖」第2幕 オデット姫と白鳥達の踊り
「くるみ割り人形」第1幕 マーチ(子ども達の踊り)
「眠れる森の美女」第1幕 花のワルツ ほか

第2部／『音楽と影絵』
プロコフィエフ「ピーターとオオカミ」

第3部／『オーケストラに乗ってみんなで歌おう』
「おもちゃのマーチ」「背くらべ」「富士山」ほか

■14:00 開場 14:30 開演

■全席指定 一般 1,500円 4歳以上中学生以下 500円

●5/5(土・祝) ●中ホール・大地

ユズリン in グランシップ ～ユズリンといっしょに うたおう! おどろう!～

「給食モリモリおかわリンジャー」「おそうじ洗隊キラキラピッカマン」などニューヒーローものが話題のシンガーソングライター、大人気のユズリンが登場! 「少年少女冒険隊」「笑顔がかさなれば」など、一緒に歌って踊るひとときを楽しもう!

【出演】ユズリン(本名/中山 譲)三島市出身

1982年～1993年小学校教員。1993年～全国各地で

学校巡回を中心にコンサート活動を実施中。

■2回公演 午前の部 11:30～ 午後の部 14:30～

■全席指定 一般 1,200円 小学生以下 600円

*2歳未満の膝上鑑賞は無料。0歳から入場可。

チケット
発売中

こどものくに おとのひろば

5/3(木・祝)～6(日) 10:00～16:00

入場無料(中ホールを除く) 中ホール・大地、展示ギャラリー、交流ホールほか



楽器提供:鈴木楽器販売株式会社
撮影協力/財静岡県舞台芸術センター

体験する。学ぶ。競う。

体験&出場プログラム続々 参加者大募集

グランシップ&静響 ヤングオーケストラ塾 (対象/大学生以下)

プロオーケストラと共演のチャンス！1公演につき5回の練習の後、コンサートで演奏を披露。ひとつ上の演奏力をめざそう。

	本 番	練 習	申込締切
第1回	6/24(日)	5/13(日)・20(日)・6/10(日)・17(日)・23(土)	4/6(金)
第2回	9/23(日)	8/12(日)・19(日)・9/2(日)・16(日)・22(土)	7/13(金)
第3回	12/16(日)	10/28(日)・11/23(金・祝)・12/2(日)・9(日)・15(土)	10/5(金)

■募集楽器/ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ・コントラバス・フルート・オーボエ・クラリネット・ファゴット・ホルン・トランペット・トロンボーン・チューバ・打楽器

■参 加 料/各回 7,000円(公演チケット1枚含む)

■申込・問合せ/NPO法人静岡交響楽協会 TEL 054-203-6578 FAX 054-203-6579

★わくわくワークショップまつり 2007

ともだちハウス 7/21(土)

粘土、紙、空き容器などを使って、木箱の中に自分だけの部屋を作ろう。みんなの部屋を積み上げれば大きな「ともだちハウス」のできあがり。作った部屋はその日の記念にお持ち帰りOK！

■定員80名



ひみつの惑星(ステージ体験ワークショップ) 7/22(日)

舞台は小さな星の小さな街。そこで開かれる初めての花火大会をめぐるてんやわんやを一本の作品に。出演、衣装、美術、技術の4つの班に分かれ、専門家の指導のもと、作品づくりから本番の進行まで、本格的な舞台づくりを体験。

■定員100名(出演班30名 衣装班30名 美術班20名 技術班20名)

★親子で学ぶサイエンススクール

～エコで楽しい夏休み～(仮) 7/29(日) 14:00

今回のテーマは『環境』。“自転車発電でTVゲームはできるのか？” 自転車を使った発電実験など、親子で楽しくエコ体験。さまざまなエコグッズも登場予定。

第28回静岡県学生音楽コンクール 8/18(土)

若手音楽家の登竜門、歴史あるコンクールがこの夏もグランシップで開催。

■参加資格/県内在住、または県内の小・中学校・高校に通学、もしくは県内の小・中学校を卒業の児童・生徒に限る。

■審査部門/声楽部門・ピアノ部門・弦楽部門・管楽部門

■参 加 料/小学生 8,400円 中学生 9,450円 高校生 10,500円

■問い合わせ/静岡新聞SBS事業局 TEL054-284-1869

第1回グランシップ

クラシックバレエコンクールinしずおか 8/7(火)～8/10(金)

グランシップが発信する新たな舞台芸術振興&青少年育成プログラム。次代の舞踏家を発掘するこのプロジェクトで、初代入賞の栄誉を！

■中ホール・大地

■参 加 料/予選一名につき 15,000円

本選一人につき 5,000円(申込受付後の返金不可)

■参加資格/ジュニアの部A：小学4年～中学1年(1997.4.2～1995.4.1生)

ジュニアの部B：中学2年～高校2年(1993.4.2～1991.4.1生)

シニアの部：高校3年～(1989.4.2生～)※2007年4月時点の学年

■参加規定/演目：クラシックバレエからのヴァリエーションでソロで踊れる作品

制限時間：2分30秒以内(超過の場合は失格)

■日 程/8/ 7(火)ジュニアの部 A予選

8/ 8(水)ジュニアの部 B予選

8/ 9(木)シニアの部 予選

8/10(金)ジュニアの部 A・B、シニアの部 本選

■一等賞金/ジュニアの部 各100,000円 シニアの部 150,000円

■各 賞/グランシップ館長賞、静岡新聞・静岡放送賞

審査委員長特別賞、奨励賞、参加賞

■申 込/5/1(火)～5/31(木)(当日消印有効)

■問い合わせ/実行委員会事務局 TEL 054-203-6578

■申込方法/所定の申込書類に必要事項を記入し、参加費(現金書留)を添えて申込みを。複数参加の場合は同サイズ(A4)にコピーのこと。

*定員になり次第締切。尚、定員超過の場合の参加料は返金。

■申 込 先/422-8072 静岡市駿河区小黒2-9-10

静岡交響楽協会内 バレエコンクールinしずおか

★の問い合わせ先

(財)静岡県文化財団企画制作課 ☎054-203-5714

山本晋也

秘すれば……。

「なんでもかんでもあからさまにしない、秘することの美しさね。

そこをあえてあからさまにするなら、

そのときは美しく描こうと。

それはもう、俺なりの流儀みたいなものですな」

民主主義の黎明期に出会った映画。

ダンディズムを家庭と映画の中で身につけたという監督は、ジーパンを履かない。スニーカーも持っていない。常にプレスのきいたズボンを身につけ、革靴を履いている。しかし、その一方で後ろ指をさされるのが快感とも語る。内と外、日向と陰、大人と子ども——どちらが弱者、強者というのではなく、相反する二つの世界を尊重し、そのどちらにも愛おしそうな視線を向ける。生涯現役。日本の表と裏を切りとり続ける監督がそこにいる。

——山本晋也というお名前は、実はご本名ではないそうですね。

「そう。本名を使っていたのは、NETテレビ（現朝日テレビ）にいた頃と、岩波映画で羽仁（進）さんの助監督をやった時代ですね。僕の場合、監督デビューは25歳でしたが、成人映画だったから、みんなが気を遣ってね。将来がある身だから名前を変えたほうがいいんじゃないかと。それでランキンも間近な頃、知り合いが姓名判断をしてもらったという名前を2つ持ってきたの。山本晋也と山本修三。身体が大きければ修三、小さいなら晋也がいいというわけで、この名前になった。誰とは言えないけれども、みんなが知っているような文芸作品の監督が、昔、裏名前で成人映画を監督していたなんてことはよくある話でね。大作家が新聞の官能小説を書くときには名前を変えるみたいなものなんだけど、まあ、一つ言えることは、それだけその手の映画が後の世にはびこるなんてことは、当時、誰も思っていなかったということです。それがやがてロマンポルノに発展して、ましてやAVまで行き着くなんてね。ただ、僕の中では尺度があつて、僕はAVは一本も撮っていない。映倫指定の成人映画で終わってるんです。嘘を本当らしく見せるのが演出。時代劇で俳優を本当に刀で切つて殺しちゃったら、映画じゃないでしょう。それと同じことなんだよね。」

「これまでに手がけた作品は、二五〇作以上。そこにはさまざまな戦いがあつたとうかがっています。」

ただ、民族性もあつて、この国ではそう簡単にはいかない。だから、最初にやる奴は損をする。映倫にいじめられるわけです。いけませんといわれれば、じゃあ、これはどうだとまた挑戦する。大衆には反権力の代表みたいにいわれて、次は何をやってくれるかという期待も多かったから、俺はその期待を裏切っちゃいけないとばかりに、次々新しいアイデアを考えるわけです。馬鹿だねえ。（笑）黒沢（明）さんの『羅生門』なんて凄いい作品ですけど、あの頃は映倫がありませんから。映倫ができたのはその後。まさにその黎明期から戦ってきました。」

——BSの名画解説などを拝見しますと、監督が少年時代からいかに映画好きでいらしたかがよくわかります。

「日本が戦争に負けて、この国は映画で解放されるわけです。圧倒的な数のアメリカ映画が、一気に入ってきた。可哀相にドイツは悪者で、今思えば、アメリカ万歳風の映画ばかり見せられたな。ただ、当時は小中学生が自分たちだけで映画を観に行くことは禁止されていて、必ず親同伴でなければならなかった。俺としては映画は観たいけれども、同伴は嫌だったわけですね。そんな時代にも関わらず、早稲田中学には映画部というのがあつたんです。俺は小さい頃から跡取りといわれて育ってきて、親父はちゃんと俺の将来の図式を引いていたんですけど、その図式の中に早稲田中学があつた。それで学校見学に行ったら、部員を募集していて、我がクラブは映画を観るところから始まるというじゃないですか。それはいい、ぜ

ひ、この学校に入りたいと思ったわけですよ。ちなみに親父の図式によると、早稲田中学の後には、早稲田高校、早稲田大学理工学部、一級建築士というコースでしたけど。」

——では、まさか映画監督になるとは……。「ゆめにも思っていなかったでしょうね。僕らの時代、少年は心に決めていただけで口



アメリカ映画『ケンタッキー・フライド・ムービー』をモデルにしたギャグ映画『下落ちた七人の侍』は、赤塚不二夫が企画・脚本、タモリ、所ジョージら豪華キャストは今や伝説に。

にできなかったから。今みたいに言葉が達者じゃない分、イメージーションはあつた。そのイメージーションを働かせながら、アメリカ映画でいろんなことを知っていくわけ。たとえば、親父よりも貧しい人たちがネクタイを締め、ちゃんとした風体をしているということ。チャップリンがいい例だね。そういう

ダンディズムは、男子たるもの、一旦家の外に出たら……というわが家の教えに重なるところもあるんです。日本はまだ民主主義が始まったばかりで、学校では先生が民主主義を唱えながら、連帯責任だといってビンタしたり。そういう民主主義の黎明期に映画という文化に出会い、ある日、ふと目覚めるわけね。『鞍馬天狗』ではいつも正義が勝つけれども、アメリカ映画では悪が勝つ場合もある。しかもその生き様、死に様がかっこいいと。そういう憧れが自分の出発点になっているようなところはありますね。」

少年時代の不思議。

——聞くところによると、監督は常々人へ後ろ指をさされるようなシブイ道を渴望してらしたということです。

「少年時代、たとえば法事なんかで、母親にあの人とはしゃべっちゃダメだと耳打ちされるわけね。何で？と聞くと、あの人は奥さんをしゅちゅう替える下衆で下品きわまりない人だからだと。でも、世の中に出てみると、盛り場というのはほとんどそういうことで成り立っているわけです。しかも今と違って大人の文化、大人の世界に子どもが立ち入ることが許されなくて、その境界線には薄いながらも、カーテンはちゃんとあつた。ストリップ劇場の前で友達と看板を見ているだけで、知らないおじさんに「ガキがそんなもの、見るんじゃない」と怒られたからね。で、そのとき学習するわけ。大人になるまでこういうものに近づいちゃいけな



【やまもとしんや】

映画監督。1963年日本大学芸術学部演劇科卒業。NETテレビ(現・テレビ朝日)のアシスタントディレクターを経験の後、岩波映画で羽仁進に師事し、助監督を務める。65年『狂い咲き』で映画監督デビュー。以来およそ250作の成人映画を監督。一般映画では、『下落合焼とりムービー』『欽ちゃんのシネマジャック』ほかで知られる。エイズ問題にも関心を寄せ、厚生省エイズ撲滅広報委員(エイズ予防財団)に就任し、全国で講演活動を展開。『トゥナイト2』(テレビ朝日)でのレポートが評判となったほか、コメンテーターとして活躍。『欽ちゃんの仮装大賞』(日本テレビ)では、長年審査員を務める。近年は役者として映画『カンゾー先生』、NHK大河ドラマ『利家とまつ』などにも出演。39年東京生まれ。

NHKのBS2「シネマ本舗」では、名画の魅力を独特の視点から語る山本監督。
「少年の日に観た映画を60歳過ぎてもう一度観ると新鮮ですね。新たな発見がありますよ」

いんだということをね。同じように映画の中にも少年の不思議がいっぱいあって、たとえば山本富士子さんと上原謙さんが旅館に泊まるとするでしょう。食事して、恥ずかしそうにお風呂に入って、女中さんが布団を敷いてそろそろ寝ようということになる。そこで画面はフワーとフェイドアウトして真っ暗になって、もう一度フワーと明るくなると朝になっている。その間をどうして見せないんだろうと思いがちでも、よし、大人になつたらそこを描こうと思うわけですよ。もちろん秘すれば、というのはある。なんでもかんでもあからさまにしない、秘することの美しさね。そこをあえてあからさまにするなら、そのときは美しく描こうと。それはもう、俺の流儀みたいなものですね。そして、自分では決して悪いことではないと思ひ、それなりに誇りも持っているけれど、でも、世間的にはきつと悪いことなんだろうなという、後ろ指さされる快感ね。そういうのはありますね。」

——現在、静岡県文化財団で作品を募集している『第4回静岡の魅力フォトコンテスト』では、審査員としてご参加とのことですが、審査委員長の大竹省二氏とは古いご縁だそうですね。

「そうですね。若い頃、大竹さんのお弟子さんだった沼田早苗さんの『日本の男100人』という企画で、被写体としてスタジオに行つたんです。そのとき、こちらの様子をうかがっていた大竹さんが不意に俺のところ

やつてきて、「君ね、その髭、生やした方が売れるよ」といったんですよ。当時は消しゴムで消えるなんていわれて、とにかく評判が悪かった俺の髭を、写真の大家が生やせという。後で聞いたら、あの人は顔相見の大家なんだってね。それ以来のご縁です。」

——大竹氏も監督同様、大衆の視線を意識しながら、昭和の芸能を築いてこられた写真家だと思ふのですが。

「それは本当にすごいことだと思います。女優さんたちを撮った写真集は、今撮った世界じゃないでしょう。ましてやデジカメで撮ったんじゃない。自分で撮って、自分で現像している。俺もモノクロを撮っているからわかるんだけど、白から黒までの間には何百という色がある。もう少し白、いや、もう少し黒だという微妙な感覚ね。そういった現像という作業を通して、作品をつくりあげていくわけです。もちろん女優さんそのものも違います。いい顔つきをしていましたよね。今のおねえちゃんとは、どこにでもいるおねえちゃんでしょう。同じ顔して、同じメイクで。昔は目張りの入れ方一つでも、それぞれ違った。男優さんにもいい日本人の顔があつたしね。それにしても「一枚を撮る」というのはすごいよね。俺たちは動きモノの世界だから、多少ごまかしがきくけれど。シャッターチャンスのとらえ方、画面のとらえ方一つで、作品そのものが生きたり死んだりする。そういう意味でも、今回の『フォトコンテスト』を楽しみにしています。」

G



作品募集中!

第4回 静岡の魅力 フォトコンテスト 2007

審査委員長／大竹省二

審査員／山本晋也 藤井秀樹 沼田早苗 織作峰子
徳川慶朝 天野 一 矢島敦美

応募締切／2007年7月31日(火)※当日消印有効

問合せ／〒420-0035 静岡県静岡市葵区七間町8-20毎日江崎ビル7階
(株)ピーエーシー内「フォトコンテスト事務局」
TEL 054-254-8933 (月～金9:00～18:00)

あらすじ

下平の集落では、お照り続きで作物が枯れる寸前。そこで、むかし、竜王権現さまにお願いして雨を降らせてもらったという竜宮淵に村人がお祈りをしました。お祈りは、昔どおり、七日七晩続けられ、結願日には竜王権現さまにご馳走を供えるのですが、村にはお椀もお膳也没有。そこで雨乞いのついでに竜王権現さまにお椀とお膳をお願いしたところ、七日目に竜宮淵から美しい女の人が現れ、淵にはたくさんのお椀とお膳も浮かんでいました。待ち望んだ雨も降り、お椀とお膳でお祝いをしたのですが、村人の一人が、お膳を壊してしまったのです。以来、どんなにお祈りしても竜王権現さまは、お椀もお膳も貸してくれなくなりました。

参考文献『さくま昔ばなし』（佐久間町教育委員会）
再話・脚色 八木洋行
方言指導 やまんばの会

佐久間小学校 6年生17人（男子1名、女子16人）
指導 島田先生



「どうぞ、竜王権現さま、お膳とお椀をお貸しくださるよう…」

「竜宮淵」

子どもたちが伝える昔ばなし

あらすじ

浦川の見龍という医者さまは、下男に馬のアオを曳かせ、時々往診にでかけます。その日も往診に行き、汗まみれの馬を淵尻で洗うことにしました。気持ちよさそうにしていたアオが、突然、暴れて逃げ、追いかけると見龍先生の庭におり、尾っぽにカッパがしがみついています。それは時々村人に悪さをするカッパで、懲らしめようすると、カッパは大粒の涙を流して許しを乞います。先生は許してやるよう村人を諭し、カッパもそれなら目薬の製法を教えると約束します。その晩、カッパは目薬の製法を先生の枕元に置きます。先生はさっそく目薬を作り、目の悪い村人にさすとたちどころに治りました。そこで先生は目薬を「白梅散」と名づけて売り出しました。でも、世間では「カッパの目薬」と呼んでいたそうです。

参考文献『さくま昔ばなし』（佐久間町教育委員会）
再話・脚色 八木洋行
方言指導 やまんばの会

浦川小学校 5年生12人（男子8人、女子4人）
指導 牧野先生



「もう、決して悪さはいたしませんから。お許しくださいやああ」

「カッパの目薬」

子どもたちが伝える昔ばなし



（財）静岡県文化財団アーカイブ事業

子どもたちが伝える昔ばなし

この静岡県に現在、どれだけの昔ばなしが残っているだろうか。

おそらく文字として記録されている話のごく一部。

その季節になると決まって思い出す話もあれば、何十年と誰かの記憶の底に眠っている話もある。

そのため、その数を正確に見極めることは難しいだろう。

人間的なぬくもりはあるが、確かな手ざわりはない。

だからこそ、だ。ひとの口のにのぼってはじめて生きる「口承文芸」の一つとして、今、

静岡県に伝わる昔ばなしを次の時代の財産に。

（財）静岡県文化財団アーカイブ事業 「子どもたちが伝える昔ばなし」とは

静岡県内各地に残る民話や昔ばなしを、地域の小学生による絵画、音響効果、解説を加えて映像化し、DVDとして保存しようというプロジェクト。平成18年度より3か年の計画で県内小学校12校の協力のもと、計12話を制作。平成21年度に静岡県で開催の「国民文化祭」での発表を目指している。

初年度は県西部より4作品を選定。 小学生が全69枚の絵画で参加。

初年度となる平成18年度は、静岡県西部地区の旧佐久間町、旧水窪町に伝わる昔ばなしから4話を選定。民俗学者の八木洋行氏が再話・脚本を手がけ、現浜松市の佐久間小学校、浦川小学校、城西小学校、水窪小学校の生徒計88名が絵画制作に参加。昨年8月の各校での朗読会に始まり、夏休みや授業を利用して絵画の作成、音声録音、編集と進行。今年2月19日には、グランシップ映像ホールにて発表会が行われた。

子どもたちが伝える昔ばなし

「大沼の大蛇」



「あれー、大蛇が、沼の下を突き破って、沢伝いに逃げてくよー」

子どもたちが伝える昔ばなし

「ヤマメ地蔵」



「でっかいヤマメだー。おーい、見てくれー、こんなでっかいのんあがったぞー」

あらすじ

野田に大沼と呼ぶ池があり、池には大蛇が潜み、水面に人影が映ると、大蛇が現れて飲み込むと伝えられていました。ある日、旅の法印が赤い着物の女の子を連れてやってきました。女の子の姿が池に映ったと思うと突然大蛇が現れ、女の子を食べてしまいました。法印は怒り悲しみ、修法し、満願の日に針を千本池に投げつけると、空がにわかに曇り、苦しみもだえる大蛇が姿を現して暴れました。大雨が降りはじめ、やがて、大蛇は池の西の端を切り裂いて沢伝いに逃げていってしまいました。大蛇が逃げていった沢を田切れ沢と呼び、法印さまは開山さまとして今も祀られています。

参考文献『さくま昔ばなし』（佐久間町教育委員会）
再話・脚色 八木洋行
方言指導 やまんの会

城西小学校 全学年31人（男子21人、女子10人）
指導 松井先生

あらすじ

むかし、翁川の淵で村の若者たちが毒揉みをしようと仕度をしていました。仕度が終わり、腹ごしらえにムスビを食べ始めると小僧さんがやってきて「毒揉みは止めたほうがいい」と言います。しつこいので「ムスビをやるからあっちへ行け」と追い払うと、小僧さんはムスビを食べ、悲しげに帰って行きました。やがて毒揉みが始まり、たくさんのヤマメが獲れ、最後に大きなヤマメが獲れました。淵のヌシです。村へ帰り、まず大ヤマメの腹を割くとムスビが現れ、その瞬間、若者たちはあの小僧さんを思い出しました。その晩、毒揉みをした若者たちは熱を出し、次々死んでいきました。そこでヤマメを抱える石の地蔵さんを淵の上に造立し、若者たちと大ヤマメの霊を祈ることにしました。これが翁川のヤマメ地蔵さんのいわれです。

参考文献『みさくぼまるごとガイド』、
『続々遠州伝説集』（遠州伝説研究協会）
再話・脚色 八木洋行
方言指導 あひるの会

水窪小学校 6年生28人（男子17人、女子11人）
指導 大場先生

SPECIAL2

What wonderful children!

コドモ チカラ

浜松市の佐久間町と水窪町から、四つの小学校の生徒が地域に伝わる昔ばなしに絵を付けてくれました。学校によって生徒の人数と学年の編成が低学年から高学年、あるいは高学年だけで編成されたところなど違いがありましたが、それぞれ取り組んだ昔ばなしの場面をよく想像して描いていただきました。また、お話の舞台となった場所をよく写生し描き伝える努力も伝わってきました。

ただ、野田の池は今の姿を伝える風景が無いので苦

戦していたように思います。ヤマメ地蔵のお話を伝える淵も、むかしのような深い神秘的な景観をとどめておらず、やはり苦戦していました。お

「子どもたちが地域の歴史や民族、自然を学ぶ機会にも。」



再話・脚本 八木洋行
民俗学者

話によつては登場人物が多くて、その人物像を色分けするのに大変苦労している跡も伝わってきました。ただ、細かく感想を述べさせていただ

に合っていない人物がある。④その時代に無かった器具が登場する。などなど、主に歴史・民俗考証というところが、今後の課題でもあろうかと

思いました。この事業を実施いただいた校長先生から、「図画工作の時間が少なくなっているだけに、ゆとり教育のひとつ、総合学習に最適なのでは！」という感想をいただいています。昔ばなしの場面に絵を付けてゆくという過程で、子どもたちが地域の歴史や民俗、自然環境、方言のことなど学ぶことが出来るというわけです。わたしの希望ですが、子どもたちが台本を作り、声優さんもやっていただけたら、さらにこの事業は、稔が多いものになるはず



「発表会」の様子（2007/2/19）



声優による音声収録風景（2006/10/10）

「創る喜び、演ずる楽しみ」

角替

弘志

（グランシップペンクラブ会員 常葉学園大学副学長 地域文化活動賞選考委員長）

昭和62年に「県民文化の振興を通して県民生活の向上と活力ある郷土づくりに資するため」に設けられた地域文化活動賞も第20回を迎え、2月12日にグランシップ中ホール・大地で華やかに表彰式（記念講演、受賞団体活動発表）が催された。本年度の応募団体は34団体であり、これまでに通算で延べ

711団体にも及ぶ県内各地の文化団体が応募されている。本年度の地域文化活動賞（グランプリ）は旧蒲原町の駿河裂織俱樂部が受賞した。「人間は最

高の風景」と題して講演された村松友視氏にならつて言えば、「おら、びつくりしちゃつてえ。ポロン、けつこいべになるだつて。」うそすら、そんなことありつこ



GRANSHIP Pen Club

ねえじゃん。「だけん、グランプリだからちやつただつて。けんたいええじゃん。」「そいじゃあ、とんでつてみてくるか。」ということになるだろう。昨年度グランプリを受賞した静岡木遣保存会東嘉会の木遣で始まった第20回を記念する今回の催しは、本年度の奨励賞・努力賞を含めた各受賞団体に

よる、着物ショー（駿河裂織俱樂部あり、和太鼓（二色太鼓保存会）・ジャズ（静岡ジュニアジャズオーケストラ）・ちんどん（ゆうとう夢ちんどん団）あり、劇浜松放送劇団・語り（中川根語り部の会「話楽座」）あり、民謡（鹿島交流振興会）・合唱（伊豆新世紀創造祭記念合唱団）ありの多様で多彩な舞台（活動

発表）に会場は楽しさで大いに盛り上がった。文化は風土を耕す営み（カルチャー）と言われる。それぞれ地域で多くの人によつてさまざまな文化が育まれている。しかし、その根底には、自らの手で創り、演じるといふことの醍醐味があることをつくづく感じさせられた一時であった。

西欧音楽の向こうに潜む、民族の香り。
東欧と旅するように楽しみたい。

グランシップと静岡交響楽団による
コンサートシリーズも、早6年目を迎える。
宮廷楽士にスポットをあてたり、協奏曲
をシリーズで紹介したりと、これまでさ
まざまなテーマのもと、良質なクラシック
をお手頃な価格でお届けしてきたが、
そんな人気シリーズでは、今年度より
「名曲の舞台」をスタートさせる。
今年はず、音楽の宝庫ともいふべき
「東欧」から、ゆかりの名曲をピックアップ。
東欧といえば、ポーランド生まれのショ
パン、ハンガリー生まれ（現オーストリア）
のリスト、チェコのドヴォルザークあたりが
有名だろう。ジプシー音楽の血脈を色濃
く受けたその音楽性には、西欧の音楽家
たちも少なからず影響を受け、シューマン
の「流浪の民」、ブラームスの「ハンガリー
舞曲」など、数々の名曲を残している。
さまざまな歴史的迫害と背中合わせに
育まれた、美しく繊細、かつ力強い音楽
文化をぜひ、シリーズでたっぷりどうぞ。

グランシップ&静響 クラシックコンサートシリーズ

名曲の舞台

「音楽の宝庫・東欧編」

監修／堤 俊作（静岡交響楽団音楽監督） 演奏／静岡交響楽団

13:30開場 14:00開演 グランシップ中ホール・大地

全席指定 S席 3,500円（当日4,000円） A席 2,500円（当日3,000円） 学生券（大学生以下）1,000円

おすすめ! 発売中 ▶ 3回シリーズマイシート S席 9,000円 A席 6,500円

vol.1 6/24(日) チケット発売 3/25

【曲 目】グリーグ／「ペールギュント」組曲より
（静響&ヤングオーケストラ塾合同演奏）
ショパン／ピアノ協奏曲第1番
リスト／ハンガリー狂詩曲第2番

【指揮】堤 俊作

【ゲスト】ピアノ／青柳 晋 ソプラノ／横山靖代



堤 俊作
（指揮／シリーズ監修）



青柳 晋（ピアノ）



横山靖代（ソプラノ）

vol.2 9/23(日) チケット発売 6/24

【曲 目】ヴェルディ／歌劇「アイダ」より凱行行進
曲（静響&ヤングオーケストラ塾合同演奏）
グライツェ／ヴァイオリン協奏曲
ドボルザーク／交響曲第8番 他

【指揮】渡邊一正

【ゲスト】ヴァイオリン／篠崎史紀
ソプラノ／関森温子



渡邊一正（指揮）



篠崎史紀
（ヴァイオリン）



関森温子（ソプラノ）

vol.3 12/16(日) チケット発売 9/23

【曲 目】ワーグナー／楽劇「ニュルンベルクのマイスター
シンガー」より（静響&ヤングオーケストラ塾合同演奏）
スメタナ／交響詩「モルダウ」
フリストフ／ブルガリアの古い聖歌より
チャイコフスキー／「くるみ割り人形」組曲より 他

【指揮】石本由香利

【ゲスト】合唱／静岡児童合唱団、青葉会スベリオル



石本由香利（指揮）



静岡児童合唱団、青葉会スベリオル

グランシップ&静響 ヤングオーケストラ塾（対象／大学生以下）

プロオーケストラと共演のチャンス! 1公演につき5回の練習の後、コンサートで演奏を披露。ひとつ上の演奏力をめざそう。

参加者募集中!

	本 番	練 習	申込締切
第1回	6/24(日)	5/13(日)・20(日)・6/10(日)・17(日)・23(土)	4/6(金)
第2回	9/23(日)	8/12(日)・19(日)・9/2(日)・16(日)・22(土)	7/13(金)
第3回	12/16(日)	10/28(日)・11/23(金・祝)・12/2(日)・9(日)・15(土)	10/5(金)

■募集楽器／ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ・コントラバス・フルート・オーボエ・クラリネット・ファゴット・ホルン・トランペット・トロンボーン・チューバ・打楽器

■参加料／各回 7,000円（公演チケット1枚含む）

■申込・問合せ／NPO法人静岡交響楽協会 TEL054-203-6578 FAX 054-203-6579

GRANSHIP JAZZ LIVE

スイング ジャズ クラブ

～ビッグバンドに参加しよう～

奥田“スインギー”英人プロデュース 企画・制作グランシップ

15:30開場 16:00開演 グランシップ中ホール・大地

全席指定 一般 4,500円 学生券(大学生以下) 2,500円

4/15(日) 一般発売 ▶ 3回シリーズ マイシート 12,000円

ホストバンド／ブルースカイオーケストラ
日本の代表的スイングバンドとして活躍。次世代に羽ばたく名門ビッグバンドとして注目されている。また、ダンスオーケストラとしては 世界一踊りやすい楽団との評価を受け、皇室、海外VIPクラスの伴奏へのオファーも多い。



スイング黄金期のビッグ3へ、
愛とリスベクトをこめて。

ジャズの中でスイングジャズほど広く親しまれているスタイルはないかもしれない。そして、それは1930年～40年代のスイング黄金期だ。このビッグ3をリスベクトとしておく本シリーズは、黄金期の残りの香を知る人も、また近年の邦画「スウィングガールズ」でその楽しさを知った世代にもおすすめ。日本を代表するスイングバンド、ブルースカイオーケストラによる演奏も、期待大である。

時代は、まさにスイングジャズの黄金期だった。さて、そんなゴールデン・エイ

時代は台頭したビッグバンドが、音楽性とエンターテインメント性の両面に優れていたことがやはり大きい。伝説のビッグバンドが連日そのサウンドを競い合った時代は、まさにスイングジャズの黄金期だった。

このビッグ3をリスベクトとしておく本シリーズは、黄金期の残りの香を知る人も、また近年の邦画「スウィングガールズ」でその楽しさを知った世代にもおすすめ。日本を代表するスイングバンド、ブルースカイオーケストラによる演奏も、期待大である。

ジを彷彿とさせるシリーズが、今年のジャズライブだ。「キング・オブ・スイング」と呼ばれたベニー・グッドマン、スイングの申し子として大衆の人気を最も集めたグレン・ミラー、そして、「スイングしなけりや意味ないね」の一曲まで残したデューク・エリントン。

vol.1 7/8(日)

4/15(日)
チケット発売

グレン・ミラー

【ゲスト】MALTA(アルト・サクソ)



vol.2 10/7(日)

7/8(日)
チケット発売

デューク・エリントン

【ゲスト】前田憲男(ピアノ)



vol.3 2008.2/24(日)

11/18(日)
チケット発売

ベニー・グッドマン

【ゲスト】セシル・モンロー(ドラム)



参加者募集中!

グランシップ ジャズ クリニック

ビッグバンドのメンバーとしてジャズライブに参加しよう。各回ゲストプレイヤーも講師として参加。プロのテクニックを盗むチャンス!

- 対象 象/楽器演奏経験のある中学生以上
- 募集パート/トランペット・トロンボーン・サクソ・ドラムス・ベース・ピアノ ほか
- 各回共通課題曲/「シング・シング・シング」 vol.1:「ムーンライト・セレナーデ」 vol.2:「A列車で行こう」 vol.3:「レッツ・ダンス」
- 練習日/本番前日 vol.1:7/7(土) vol.2:10/6(土) vol.3:2008/2/23(土)
- 参加料/各回 一般 5,000円 学生 3,000円
- 申込・問合せ/財静岡県文化財団 企画制作課 TEL.054-203-5714 FAX.203-5716

吉行淳之介さんの十三回忌のパーティが、昨年の夏に行われた。亡くなられて十三年か……かつて編集者時代に吉行淳之介担当であった私は、そのパーティ会場で、吉行さんについての本を書き下ろす決心を、ようやくかためた。亡くなられた直後から依頼されていたこのテーマに、ようやく腰を上げる気になったのだった。

今年の一月十五日に脱稿したが、タイトルを『淳之介流』、サブタイトルを「やわらかい約束」とした。

「やわらかい約束」は、吉行さん独特の意味合いでよくつかう言葉だった。雑談の中で、これはぜひ書いてもらいたいというテーマが見つかったと、編集者はその場ですかさず執筆の約束を取りつけようと申し出る。すると、吉行さんは、「そんなにあせりなさんな……」という表情で、「じゃあ、その件はとりあえずやわらかい約束にしておこうか」と答える。初めて言われた編集者は、「やわらかい約束って何ですか」と問い返す。

「やわらかい約束……つまり固い約束ではないということだね」
「かたい約束ではない……」
「だから、守らなくていい約束」

「はあ、かたい約束ではないから、守らなくていい……」

「ま、そんなことにしておこうよ」

吉行さんはそう言って、話題をほかへ移してしまう。つまり、「執筆の約束はしなかったことになるのか」と、編集者は不安になる。だが、即座

には守れない

「やわらかい

約束」が、とり

あえず宙に浮

いてることに気づく。そして、その「やわらかい約束」が次第に、あるいはあるとき不意に、「かたい約束」に変わる瞬間があらわれるのだ。

宙に浮いていた「やわらかい約束」が「かたい約束」に切りかわる……それが何とも色づきかかった。当時の担当編集者は、吉行さんとのそんなゲームを楽しんでいたはずだ。

この「やわらかい約束」は、おそらく女性との関係においても、不思議な効力を発揮していたのではなからうか。モテた作家の断トツ的存在であった吉行さんの、これはまことに色づきい必殺ワザだったにちがいない。「かたい約束」の野暮性、生真面目性と、約束をしな

やわらかい約束

い素っ気なさのあいだに、「やわらかい約束」という、いつ「かたい約束」に変わるか分からぬ、過飽和状態の色気ある領域をもうけるというわけだ。

だが、これを余人が真似ても、とうていこなせるワザではない。そのあたりが、誰にも真似や踏襲のできぬ「淳之介流」なのだ。

三百二十枚ほどの原稿を書き下ろしに取り組みながら、私はそのような比類ないセンスの「淳之介流」を、いろいろと発見した。そしてこの、「やわらかい約束」、駿河人に似合っているのではないかと思った。そういえば吉行淳之介さんは、旧制静岡高校の卒業生なのである。



【むらまつともみ】作家。東京生まれ。小学校～高校時代を清水（現静岡市）で過ごす。慶応義塾大学文学部卒業後、出版社勤務を経て文筆活動に入る。小説、エッセイ等、著書多数。『時代屋の女房』で直木賞、「鎌倉のおばさん」で泉鏡花賞受賞。



公演情報

2007/5-2008/2

※3月中旬の情報です。出演者、天候等の都合により、公演の内容が変更されることがあります。



CONCERT

GRANSHIP JAZZ LIVE

→P21参照

スイング ジャズ クラブ ~ビッグバンドに参加しよう~



【ホストバンド】ブルースカイオーケストラ

■15:30開場 16:00開演

■中ホール・大地

■全席指定

4,500円 学生券(大学生以下) 2,500円

おすすめ! 発売中

3回シリーズマイシート 12,000円 (G Sのみ)

4/15(日)チケット発売

7/8^⑧

G Pコード255-113 Lコード48407 S

vol.1 グレン・ミラー

「ムーンライト・セレナーデ」「イン・ザ・ムード」「茶色の小瓶」などで知られるグレン・ミラーをフィーチャー。第1回日本ゴールドディスク大賞などに輝く人気&実力派のサクセス・プレイヤーMALTAをゲストに迎えておく。

【ゲスト】MALTA (アルト・サクセス)

MALTA



7/8(日)チケット発売

10/7^⑩

G Pコード255-116 Lコード48408 S

vol.2 デューク・エリントン

【ゲスト】前田憲男 (ピアノ)

前田憲男



11/18(日)チケット発売

2008.2/24^⑫

G Pコード255-117 Lコード48409 S

vol.3 ベニー・グッドマン

【ゲスト】セシル・モンロー (ドラム)

セシル・モンロー



参加者募集中!

→P21参照

グランシップ ジャズ クリニック

ビッグバンドのメンバーとしてジャズライブに参加しよう。

■対象 楽器演奏経験のある中学生以上

■参加料 各回一般 5,000円 学生 3,000円

■申込・問合せ (財)静岡県文化財団 企画制作課 TEL.054-203-5714 FAX.203-5716

グランシップ&静響 クラシックコンサートシリーズ 名曲の舞台

「音楽の宝庫・東欧編」

【監修】堤 俊作(静岡交響楽団音楽監督) 【演奏】静岡交響楽団

■13:30開場 14:00開演 ■中ホール・大地

■全席指定/S席3,500円(当日4,000円) A席2,500円(当日3,000円) 学生券(大学生以下)1,000円

おすすめ! 発売中 3回シリーズマイシート/S席 9,000円 A席 6,500円

3/25(日)チケット発売

Vol.1 6/24^⑥

G Pコード253-492

イプセンの詩劇「ペールギュント」の舞台音楽として、初演以来グリーグが何度も手を加え続けたという名曲をプロ・アマの共演でとどけるほか、ショパンがポーランド時代に作曲したピアノ協奏曲、リストがハンガリーのジプシー音楽に曲想を得たといわれる狂詩曲をぜひ、ご堪能を。

【曲目】グリーグ「ペール・ギュント」組曲より 朝、アニラの踊り、山の魔王の宮殿にて (静響&ヤングオーケストラ塾合同演奏) S.ラフマニノフ「ヴォカリーズ」op.34-14 ショパン「ピアノ協奏曲第1番」ホ短調 リスト「ハンガリー狂詩曲第2番」他

【指揮】堤 俊作

【ゲスト】ピアノ/青柳 晋

ソプラノ/横山靖代



堤 俊作



青柳 晋



横山靖代

6/24(日)チケット発売

Vol.2 8/23^⑧

G Pコード253-494

【曲目】ヴェルディ「アイダ」より大行進曲(静響&ヤングオーケストラ塾合同演奏) スメタナ「歌劇「売られた花嫁」よりアリア グラスノフ「ヴァイオリン協奏曲」短調 ドヴォルザーク「交響曲第8番」ト短調 他

【指揮】渡邊一正

【ゲスト】ヴァイオリン/篠崎史紀

ソプラノ/関森温子



渡邊一正



篠崎史紀



関森温子

9/23(日)チケット発売

Vol.3 12/16^⑫

G Pコード253-495

【曲目】ワーグナー「楽劇「ニュルンベルクのマイスターシンガー」より前奏曲(静響&ヤングオーケストラ塾合同演奏) スメタナ「交響詩「わが祖国」より「モルダウ」 フリストフ「ブルガリアの古い聖歌」より 他

【指揮】石本由香利

【ゲスト】

合唱/静岡児童合唱団

青葉会スベリオル



石本由香利



静岡児童合唱団、青葉会スベリオル

参加者募集中!

→P10、P20参照

グランシップ&静響 ヤングオーケストラ塾

次世代を担う学生たちがプロのオーケストラとの演奏体験。

■対象 大学生以下

■参加料 各回 7,000円(公演チケット1枚含む)

■申込・問合せ NPO法人静岡交響楽協会

TEL.054-203-6578 FAX.203-6579



託児をご希望の方は、公演前日までに(財)静岡県文化財団企画制作課までご連絡ください。☎054-203-5714

※お預かりできるのは、2歳以上の未就学のお子様に限りです。

E

EXHIBITION

入場無料

5/19(土)・20(日)

トレインフェスタ2007

日本では最大級の鉄道イベントが今年もグランシップで開催。全国から鉄道模型が集結。Nゲージ体験、駅弁コーナーやクイズ大会など、鉄道ファンはもちろん、親子で楽しめる2日間。

■10:00～17:00 (5/20は～15:30)

■大ホール・海、中ホール・大地、展示ギャラリー、交流ホール、グランシップ広場ほか

■入場無料



■鉄道模型走行コーナー

★大ホール・海、展示ギャラリー、交流ホール
約5,000両のOゲージ、HOゲージ、Nゲージの鉄道模型が集合。さまざまな風景の中を走る、その姿を楽しんで。



■鉄道模型Nゲージ体験コーナー

★中ホール・大地
新幹線500系、700系などの運転に挑戦しよう。



■鉄道沿線紹介コーナー

★3Fロビー
JR東海、伊豆急行、伊豆箱根鉄道、岳南鉄道、静岡鉄道、大井川鉄道、遠州鉄道、天竜浜名湖鉄道をご紹介します。

チケット発売中

6/2(土)

G Pコード253-489 S

グランシップサロンコンサート Vol.1 日本の歌百選から

豊かな歌声と演奏が音楽的情景の世界へご案内。文化庁認定による「日本の歌百選」の中から、懐かしく美しい名曲の数々を。サロンのな雰囲気の中、上質な音楽とトークをたっぷり。

【曲目】文化庁認定「日本の歌百選」より

【出演】アンサンブル・ヴィリデス、戸崎文葉 (ソプラノ)、石川洋人 (テノール)、太田光子 (リコーダー)、戸崎廣乃 (チェンバロ)

■1回目/13:30開場 14:00開演

2回目/16:30開場 17:00開演

■6F交流ホール

■全席自由 (お菓子とお茶付)

前売 4,000円 当日 4,500円



アンサンブル・ヴィリデス



OTHERS

入場無料

5/3(土)・6(日)

こどものくに おとのひろば

音を体験したり、楽器にさわったり、つくったり。素敵なコンサートも開催。ゴールデンウィークはいろんな「おと」を五感で、そして親子で楽しもう。



おはなしキャラバン

爆音戦隊スンプレンジャー



■10:00～16:00

■中ホール・大地、展示ギャラリー、交流ホール、映像ホールほか

■入場無料 (中ホールは除く)

→P4～参照

チケット発売中

5/3(木・祝)

G Pコード249-414 Lコード47579

静岡銀行PRESENTS

→P8参照

オーケストラの奏でる感動を!! こどもたちへのおくりもの



【指揮】鈴木織衛

【出演】静岡交響楽団 静岡県バレエ協会

KAGE-BOUSI (影絵)

静岡県少年少女合唱連盟

■14:00開場

14:30開演

■中ホール・大地

■全席指定

一般 1,500円

4歳以上中学生以下

500円



鈴木織衛

チケット発売中

5/5(土・祝)

G Lコード47416 CN S

→P8参照

ユズリン in グランシップ ～ユズリンといっしょにうたおう!おどろろ!～



ユズリン

■2回公演 ①11:00開場 11:30開演

②14:00開場 14:30開演

■中ホール・大地

■全席指定 ※2歳未満の膝上鑑賞は無料

一般 1,200円 小学生以下 600円

JUST FINISHED!



昭和のいる・こいるのお二人。

28.Jan.2007

「グランシップ正月寄席」に登場。満場の聴衆を笑いに包んだ。

読者 Presents



出演者によるサイン色紙プレゼント。

1/21上演の音楽座ミュージカル「リトルプリンス」より出演者サイン色紙を、1/28開催の「グランシップ正月寄席」より、橘家圓蔵、昭和のいる・こいるほか出演者のサイン色紙をそれぞれ1名様にプレゼント。ハガキに住所、氏名、電話およびプレゼント名を明記の上、下記にて郵送を。(平成19年5月末日消印有効)なお、当選者は賞品の発送をもって発表にかえさせていただきます。〒422-8005 静岡市駿河区池田79番地の4 グランシップG係 TEL054-203-5714

MEMBERS

「グランシップ友の会」会員募集

グランシップが開催する公演・イベントをよりおトクに楽しんでいただくためのメンバーズクラブ「グランシップ友の会」。ぜひ、あなたもご入会を。

■会員タイプ・年会費(初年度会費は入会月により異なります。)

- ◆レギュラー会員 年会費 2,000円
- ◆法人特別会員 年会費 200,000円
- ◆法人一般会員 年会費 100,000円

■特典

- ◆チケット割引10%割引◆チケット先行予約◆電話での予約受付◆
- 公演情報誌送付◆提携店割引◆法人会員特典(情報誌上に社名掲載)
- (チケット代金のカード払いを希望の場合、NICOS・VISA・Master提携カードの利用可)

■お申し込み・お問い合わせ

グランシップ友の会事務局

〒422-8005 静岡市駿河区池田79番地の4 グランシップ3階

TEL.054 (203) 5714 FAX.054 (203) 5716

〈友の会法人会員〉

- 法人特別会員／静岡ガス(株)、鈴与(株)、静岡新聞社、静岡放送(株)
- 法人一般会員／(株)タミヤ、コクヨ西関東販売(株)、(株)NTTドコモ東海

財団法人 静岡県舞台芸術センター 〒422-8005 静岡市駿河区池田79-4 TEL.054-203-5730 <http://www.spac.or.jp>

SPAC NEWS

芸術監督お別れ公演

鈴木忠志の軌跡

美空ひばり熱唱!新キャストでおくる
『魔車長屋の異人さん』
ゴリーキー作「どん底」より」

演出:鈴木忠志 原作:マクシム・ゴリーキー 出演:SPAC

3月17日(土) 18:30 静岡芸術劇場
4,000円/同伴チケット(2枚) 各7,000円

46年ぶりによみがえる
新作『別冊 別役実』
「AとBと一人の女」より」

演出:鈴木忠志 原作:別役実 出演:SPAC

3月17日(土) 15:00 31日(土) 13:30/15:30
舞台芸術公園 稽古場棟「BOXシアター」
3,000円/同伴チケット(2枚) 5,000円

世界を翔けめぐる舞台
『酒神 デイオニュソス』

演出:鈴木忠志 原作:エウリピデス 出演:SPAC

3月31日(土) 18:30 静岡芸術劇場
4,000円/同伴チケット(2枚) 各7,000円

となりの家のつばき姫。百花繚乱!
『椿姫』 演出:渡辺亮史 原作:アレクサンドル・デュマ・フィス
出演:県民参加者

3月30日(金) 19:00
舞台芸術公園 野外劇場「有度」
2,000円/同伴チケット(2枚) 3,000円

【バックステージツアー参加者募集】 3月21日(水・祝) 11:00~12:30 舞台芸術公園 各700円

新・芸術総監督 宮城 聡による第一弾!

Shizuoka 春の芸術祭2007

5月3日(木・祝)~6月30日(土)

新世代の出發

イタリア、スイス、フランス、ロシア、リトアニア、
中国、韓国、カメルーン、インド、そして日本・・・
これらの世界をリードする10ヶ国気鋭の演出家・振付家が静岡へ!
2ヶ月にわたって開催される舞台芸術の祭典



世界は劇場にあり!

SPAC

Shizuoka Performing Arts Center
財団法人静岡県舞台芸術センター
平成18年度文化庁芸術拠点形成事業

静岡芸術劇場チケットセンター TEL.054-202-3399

TOPIC-1

音楽、能楽、初笑2007。吉例の新春イベント続々。



ニューイヤーコンサート



グランシップ静岡能



グランシップ正月寄席

2007年とともに幕を開けたグランシップでは、早くも新春を寿ぐイベントが続々登場。1/12(金)の「ニューイヤーコンサート」では、美しいバレエとともに名曲の数々を、また、1/14(日)の「グランシップ静岡能」では、450年ぶりに復曲、県内初上演となった「箱崎」を堪能。さらに1/28(日)の「グランシップ正月寄席」では、橋家圓蔵、昭和のいる・こいるほか人気の芸人たちが満場の観衆を初笑いへと誘った。

TOPIC-2

芸術を、グランシップを身近に。中学生鑑賞教室開催。



県内の中学生に芸術を身近に感じてもらうと、1/10・11『中学生鑑賞教室』が開催された。2日間にわたり県内各地から18校約3,200人の中学生がグランシップを訪れ、クラシックの演奏、指揮者体験のほか、一部の中学生は大ホールの見学と設備のデモンストレーションを楽しんだ。

TOPIC-3

アフガンと愛犬家たちがグランシップ広場に大集合。



『JKC静岡東アフガンハウンド展』が1/14、グランシップ広場で開催され、大型犬種アフガンハウンドのコンテストのほか、ベビーマッチショーやパピーマッチショー、チャンピオンシップショーなども合わせて開催された。当日は天候に恵まれたこともあり、多くのアフガン自慢や愛犬家をはじめ、道行く人も足を留めるなど、広場は多くの人で賑わった。

TOPIC-4

高校定時制通信制生徒による『合同文化祭』を開催。



今回で19回を数える、静岡県中部高等学校定時制通信制生徒による「合同文化祭」が1/26、グランシップで行われた。各校の1年間の集大成として、中ホール・大地では吹奏楽アンサンブルや合唱、朗読、英語劇などの公演が、また、展示ギャラリーでは、書道や陶芸、和菓子、折り紙などの作品が披露された。

TOPIC-5

今年度の地域文化活動賞に駿河裂織倶楽部。記念講演也大盛況。

静岡県文化財団では、県民文化の振興を通して県民生活の向上と活力あふれる郷土づくりに貢献するため、毎年、県内各地で優れた文化活動を行っている文化団体を表彰。今年度は、蒲原独自の柔らかな織「駿河裂織」の普及に努め、旧蒲原町の旅籠跡にある「お休み処」を管理するNPO法人駿河裂織倶楽部が地域文化活動賞を受賞。また、その表彰式・発表会が、2/12中ホール・大地にて行われた。第20回記念である今年は、清水出身の作家・村松友視さんの記念講演会も開催された。受賞団体は以下の通り。

〈地域文化活動賞〉NPO法人駿河裂織倶楽部(静岡市)／〈地域文化活動特別奨励賞〉浜松放送劇団(浜松市)／〈地域文化活動奨励賞〉(順不同)中川根語り部の会「話楽座」(川根本町)、一色太鼓保存会(小山町)、伊豆新世紀創造祭記念合唱団(伊東市)、静岡ジュニアジャズオーケストラ(三島市)／〈地域文化活動努力賞〉(順不同)鹿島交流振興会(浜松市)、ゆうとう夢ちんどん団(浜松市)



TOPIC-6

県立図書館コーナー「えほんのひろば」



グランシップ内の県立図書館コーナー「えほんのひろば」は約4千冊の絵本をカーペットに座ってゆっくりご覧いただけることから、親子連れに人気のスポット。季節に合わせた、絵本の「テーマ展示」もお楽しみのひとつ。毎週火曜10:30～、毎週木曜10:30～と15:00～、毎月第3日曜10:30～には「おはなしかい」を開催。3/25(日)の「おはなしかいスペシャル」では「おはなしキャラバンしゅーちゃんず」が歌やお話劇を披露。是非、お気軽にご参加を!お問い合わせはグランシップ図書館コーナー「えほんのひろば」054-202-2131もしくは県立図書館資料課054-262-1243まで

TOPIC-7

個性豊かな執筆陣も魅力。「しずおか文化」第88号!



知を刺激する地域探求誌『しずおか文化』の第88号がただいま刊行中。今回は「静岡浅間神社と安倍の市」を大特集。G.31号の表紙裏に登場の甲斐みのり氏による寄稿もお楽しみに。しずおか文化／B5判76ページ・季刊誌・700円(税込) 購読の申込・問合せ:(財)静岡県文化財団 企画制作課TEL054-203-5714

TOPIC-8

今年第1弾のショーウィンドーディスプレイ完成。

若手クリエイターの作品発表の場として、毎回様々なディスプレイを展開しているグランシップショーウィンドー。今年第一弾目



タイトル〜Life〜

のディスプレイは静岡デザイン専門学校プロダクトデザイン科1年の皆さまの作品。今年の年間テーマは「海」「大地」「風」。2面を使用した今回の作品はまさにそのテーマにぴったりな壮大な作品に仕上がった。地球と命を尊ぶ気持ちを感じて欲しいという思いが込められた作品だ。

TRY GRANSHIP!
グランシップを
使ってみよう!

#001
ダンス編

2

「リハーサル室」
「練習室1~4」がおすすめ!
ところでそれは
どんなグループ?

- A フラメンコや
バレエなど。
多人数で使いたい。
- B その他の
ジャンル。
少人数で使いたい。

4

5

1

グランシップで
ダンスがしたい!

- A 練習したい! B 公演の本番で
使いたい!

2

3

3

では、さっそく会場の下見を。
目的にあわせてホールをセレクト。

- A 社交ダンスなど。
落ち着いた雰囲気が
ご希望なら。
- B 教室の発表会など。
大人数を収容する
なら。

↓

↓

交流ホール

大ホール
中ホール

4

「リハーサル室」と
「練習室1~3」がぴったり。
そのうえバレエシートの利用も
OK! そのほかに?

- A 大きな鏡が
ほしい。
- B 小さな鏡で
いい。

↓

↓

リハーサル室
練習室1、2

練習室3&
備品紹介

5

1~5名程度の
中~小規模の練習に最適な
「練習室3・4」。「練習室3」なら
バレエシートの利用可。

- A バレエシートが必要。 B 鏡が必要。

↓

↓

練習室3

備品紹介

リハーサル室



鏡(幅約7.3m) 音響ワゴン
バレエバー バレエシート
21.75×12.10m/263㎡/フローリング床
コンサートピアノ完備。中ホール間口
とほぼ同じ広さのため、公演リハーサル
にもおすすめ。

交流ホール



仮設ステージ設置可
フローリング床
床面積432㎡
落ち着いた照明の会場で、付属のロ
ビーあり(備品なし)。楽屋等の控え
室はないのでご注意ください。

中ホール



760~1,209席
オーケストラピット完備
ステージ面積最大404㎡
下手舞台袖が広く、出演者の出入り
もスムーズで、どの客席からも観やす
いと好評。楽屋(有料)9室あり。

大ホール



座席数最大4,626席
平土間使用可
アリーナ面積1,720㎡
ダンスフロア(有料)があり、昇降床
式ステージは最大560㎡。楽屋(有料)
18室あり。

練習室4



付随備品はありません
5×5.55m/28㎡/フローリング床
1~2名の利用向き。付属備品なし。
コンセントあり(再生機の持ち込み可)

練習室3



バレエシート
7.25×5.1m/37㎡/フローリング床
1~5名の利用向き。アップライトピ
アノ完備。コンセントあり(再生機の
持ち込み可)

練習室2



鏡(幅約9m) 音響ワゴン
バレエバー バレエシート
11.80×7.25m/86㎡/フローリング床
セミコンサートピアノ完備。

練習室1



鏡(幅約7.3m) 音響ワゴン
バレエバー バレエシート
14×7.1m/100㎡/フローリング床
アップライトピアノ完備。

施設ご利用についてのご案内

備 品 紹 介

更衣室(シャワー付)



男女ともシャワー室も完備。利用の場合は事前に申し出を。ただし、他の利用者と共有。無料。

バレエシート



会場に合わせて3サイズあり。シートの広げる・巻く作業は利用者負担。有料。

音響ワゴン



CD・MD・カセットテープの再生可。有線マイク3本、ワイヤレスマイク2本の使用可。有料。
※準備に時間を要するため、事前にお申し出を。

姿 見



鏡素材貼りと照明付きの2タイプあり。移動がラクなキャスター付き。有料。

施設利用料金表

名 称			使用料 (単位:円)					
			午前 (9時～12時まで)	午後 (13時～17時まで)	夜間 (17時30分～22時まで)	午前～午後 (9時～17時まで)	午後～夜間 (13時～22時まで)	全日 (9時～22時まで)
大ホール・海	入場料なし及び 1,000円以下	平 日	56,000	85,000	127,000	141,000	212,000	245,000
		土日休日	68,000	102,000	152,000	170,000	254,000	293,000
	入場料 1,001円～3,000円以下	平 日	75,000	113,000	169,000	188,000	282,000	325,000
		土日休日	90,000	136,000	203,000	226,000	339,000	391,000
	入場料3,001円～5,000円以下 営利目的の利用	平 日	94,000	141,000	211,000	235,000	352,000	406,000
		土日休日	113,000	170,000	254,000	283,000	424,000	489,000
中ホール・大地	入場料なし及び 1,000円以下	平 日	25,000	38,000	57,000	63,000	95,000	110,000
		土日休日	30,000	46,000	68,000	76,000	114,000	132,000
	入場料 1,001円～3,000円以下	平 日	34,000	51,000	76,000	85,000	127,000	146,000
		土日休日	41,000	61,000	91,000	102,000	152,000	176,000
	入場料3,001円～5,000円以下 営利目的の利用	平 日	42,000	63,000	95,000	105,000	158,000	182,000
		土日休日	51,000	76,000	114,000	127,000	190,000	220,000
交流ホール	入場料 5,001円以上	平 日	51,000	76,000	114,000	127,000	190,000	220,000
		土日休日	63,000	95,000	143,000	158,000	238,000	275,000
	入場料なし及び 1,000円以下	平 日	20,000	30,000	44,000	50,000	74,000	85,000
		土日休日	24,000	35,000	53,000	59,000	88,000	102,000
	入場料 1,001円～3,000円以下	平 日	26,000	39,000	59,000	65,000	98,000	113,000
		土日休日	32,000	47,000	71,000	79,000	118,000	137,000
リハーサル室 練習室1・2 練習室3・4	入場料3,001円～5,000円以下 営利目的の利用	平 日	33,000	49,000	74,000	82,000	123,000	142,000
		土日休日	39,000	59,000	89,000	98,000	148,000	171,000
	入場料 5,001円以上	平 日	39,000	59,000	89,000	98,000	148,000	171,000
		土日休日	49,000	74,000	111,000	123,000	185,000	213,000
	リハーサル室		4,600	6,200	6,900	10,800	13,100	17,700
	練習室1・2		1,800	2,300	2,600	4,100	4,900	6,700
	練習室3・4		900	1,300	1,400	2,200	2,700	3,600

- 商業宣伝、営業等を目的として使用する場合は、大ホール、中ホール、交流ホールについては、「入場料3,001円～5,000円以下」の区分を適用し、その他については、当該区分の額に100分の200を乗じた額とします。
- 練習、準備または撤去のために使用する場合は、大ホール、中ホール、交流ホールについては、「入場料なし」の区分の額に100分の50を乗じた額とします。

お知らせ

グランシップは、施設の定期点検のため、下記の期間全館休館となります。
施設使用にかかわる予約受付等の事務処理も休館中は行いませんので、皆様のご理解とご協力をお願いします。
(図書館コーナー、情報ラウンジ、チケットぴあ、カフェ、レストランもお休みです。)

平成19年 4月23日(月)～24日(火)
5月22日(火)～24日(木)
6月25日(月)～28日(木)
7月17日(火)～20日(金)
8月27日(月)～30日(木)
9月10日(月)～12日(水)
10月 1日(月)～ 2日(火)
11月26日(月)～29日(木)
12月18日(火)～21日(金)

ご利用についてのご案内

【申込受付】
午前9時～午後8時 ※開館時間／午前9時～午後10時
【申込方法】
電話、FAXまたは当財団窓口。受付は先着順ですが、同時申込の場合や受付開始初日の午前9時～10時に申込が重複した場合は抽選となります。

お申し込み・お問い合わせ

TEL 054 (203) 5713 FAX 054 (203) 6710

財団法人 静岡県文化財団 利用サービス課 〒422-8005 静岡市駿河区池田79番地の4 メールアドレス yoyaku@granship.or.jp

施設の空き状況は、ホームページでも検索OK! <http://www.granship.or.jp>

【申込受付時期&連続使用可能日数】

施設区分	受付開始日	連続使用可能日数
国際会議や全国規模のコンベンション	随時	
大ホール、中ホール	利用開始日の2年前の月の初日	14日
会議ホール、交流ホール、映像ホール	利用開始日の1年前の月の初日	7日
展示ギャラリー	利用開始日の1年前の月の初日	14日
会議室、リハーサル室、練習室、グランシップ広場	利用開始日の半年前の月の初日	7日



グランシップは全館禁煙となっております。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

★[G]32号「LET'S USE GRANSHIP!」29ページの使用例におきまして、グランシップ広場料金の減免率および、その料金に誤りがございました。
(グランシップ広場 減免料金) (誤) 全面使用 80%OFF・6,270円→ (正) 全面使用 50%OFF・16,800円。各方面の皆様にご迷惑をお掛けしたことをお詫び致します。

グランシップの運営にボランティアの立場で参加する「グランシップサポーター」が、それぞれの心意気や感想、体験談をレポートします。

SUPPORTER's VIEW

今日も元気に「いらっしやいませ」。

第5期サポーター イベント業務担当 萩原 初江

バイクを走らせて、サポーター控え室に着くとサポーターの制服に着替えます。スーツを黒色で金ボタン付、ネクタイはベージュと黒のストライプです。(先輩が見かねて結んでくださったことも...)この制服を身に着けると「レセプションニストとして働くぞ!」という気持ちになることが不思議なほどです。期待にあふれて開場を待つお客さまの笑顔は本当にうれしく、「どうか最後まで楽しんでほしい。感動を家にまで持って帰ってほしい」と願います。コンサートなど大人に交じって小学生がいらつしやるときがありますが、静かに行儀よくしている姿は微笑ましく頼もしくもあります。

船の形をしたこの大きな建物は、お客として訪れても、サポーターとして駆けつけでもワクワクと心躍ります。さまざまな音楽、舞台、講演、そして幅広い分野の作品展示と。「いらっしやいませ」と今日も元気にお声がけいたします。



Report 037

READER'S VIEW

●学生時代に読んだ「星の子さま」。その作家の特集「サン」

テグジユベリ“を楽しく読みました。本仕立ての構成にひかれて二気に最後まで...。それで音楽座のミュージカルにも足を運んだ次第。久々の生の舞台に感動しました。

《静岡市葵区・王子さまのバラさん

●今号では「空飛ぶ作家サン」テグジユベリ」の記事が良かった。雲間に消えた44年の人生と飛行機を愛し、その間の作家生活、子供の心を忘れない大人。すばらしいと思います。彼の「夜間飛行」「星の王子さま」をぜひ読んでみます。彼の心を知るために。

《静岡市葵区・菅原幸雄さん

●《連詩の会》とてもおもしろかったです。ライブで聞けたらもっと楽しかったでしょうね。実家がグランシップの近くだったので、もし結婚していなければ、今頃きっとグランシップに入り浸っていたことでしょう。ワクワクするような行事がめじろおですね。

《榛原郡・海ぶどうさん

●故山本館長さんのニュース驚きました。SIR(県国際交流協会)のボランティアでお手伝いしていた時、気軽に声をかけていただきました。(中略)その人柄の素晴らしさに触れました。グランシップにはその魂が息づいているないつも感じて読んでいます。

《浜松市・星野知子さん

★グランシップおよび本誌「G」に関する「意見、感想、お問い合わせなど、皆さまからののお便りをお待ちしています。なお、お寄せいただいたお便りは、本コーナーに転載させていただくこともあります。転載不可の方は、その旨明記の上、お送りください。

Editor's room

今年で9回目、恒例となった高松宮妃のおひなさま展、多くの方々にご覧頂き好評のうちに終了いたしました。今年は特に高齢の方々の「きれい」「昔はこうだったね」などと話しながらご覧いただいている様子が多く目につきました。グランシップ春の風物詩として益々親しまれるよう努力してまいりたいと思います。

さて、おひなさま展が終了すると間もなく4月、19年度は、親子で楽しんでいただける事業をたくさん企画しております。まずは、今回の特集でご紹介している5月3日～6日まで開催の「こどものくに」おとのひろばです。中ホールでは、3日の静岡銀行協賛による親子で楽しめる「コンサート」、5日には子どもたちに大人気のユズリン in グランシップの公演、期間中6階交流ホールは「音を楽しむゾーン」、展示ギャラリーは「音に触れるゾーン」、2階の図書館では「昔話の朗読」、さらに、3階ロビーでは「音の出る玩具や懐かしい駄菓子の販売」と、幼児から大人まで、「おもしろい、たのしい」と目を輝かせること請け合いです。

ゴールデンウィークにはグランシップを丸ごとお楽しみください。

グランシップ副館長 後藤 和英



東静岡駅周辺整備工事に伴い
グランシップ駐車場が縮小されます。

グランシップにお越しの際は混雑緩和の為、公共交通機関をご利用下さい。

●ACCESS/ 東海道新幹線(ひかり)で東京から1時間、大阪から2時間。JR静岡駅下車。東海道本線でJR東静岡駅まで3分。東静岡駅南口に隣接。車では、東名高速道路静岡ICから20分。静岡バイパス千代田上土ICから10分。